

上馬・駒沢明和会

防災マップ

発行：上馬・駒沢明和会
協力：駒沢中学校 PTA
NPO法人コミュニティ・
ネットワーク・ウェーブ

まず 自分の命を守りましょう！

次に 身近な人を助けましょう！



力を合わせて初期消火

火災の発生、拡大を未然に防ぐための最も大切なタイミングは地震発生の直後にあります。近隣の人と協力し合い、消火器やバケツなどを使って迅速な消火にあたりましょう。

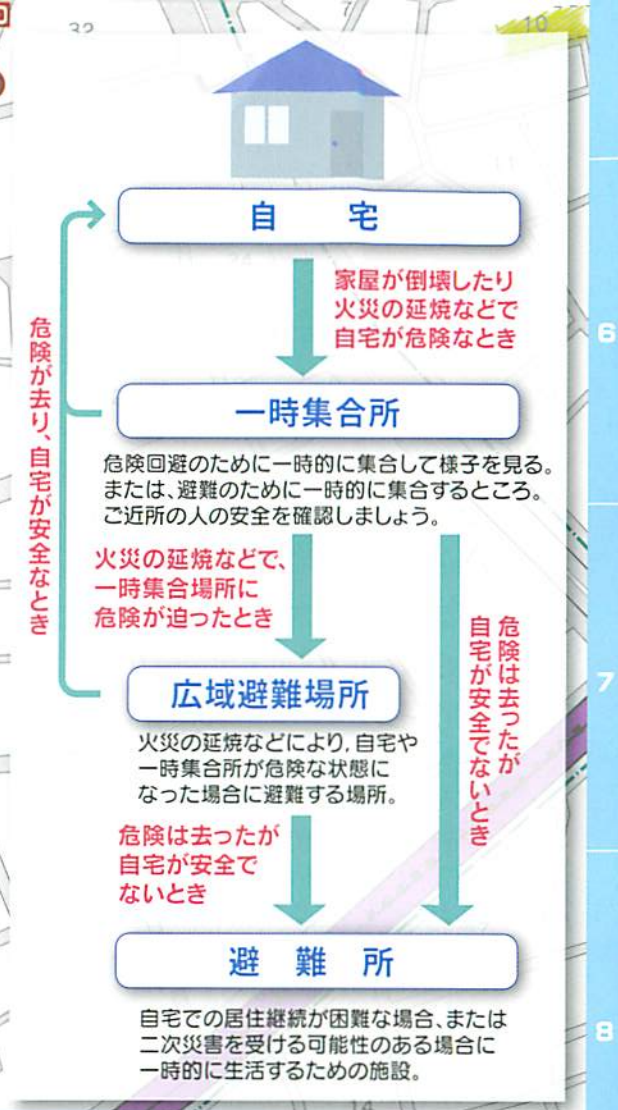
避難するときは…

次のようなときに避難します。

- 区や防災関係機関の避難勧告や避難指示があったとき
- 避難の指示がなくても防災区民組織等が避難の必要があると判断したとき
- 周辺地域に火災が発生し、延焼の危険があるとき

※**家を出るときは**：電気ブレーカーを切り、ガスの元栓を締め、戸締りしてから、となり近所とまとまって避難しましょう。

※**避難するときは**：広くて安全そうな道を選び、丈夫な履物と活動しやすい服装（長袖と長ズボン）に着替え、持ち出すものは最小限に。



上馬・駒沢明和会エリアの広域避難場所は『駒沢オリンピック公園』一帯です。

S=1:3,300

0 10 20 30 40 50 100m

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の1万分の1地形図を使用した。(承認番号 平24情使、第355号)

災害時行動マニュアル

災害発生時には、「自分の身の安全は自分が守る」という心構えと行動が重要です!

|| いざ!! || といふときのために ||

POINT 1

家族の助け合い

家族みんなで話し合い

地震などの災害はいつ起こるかわかりません。また、そのときに必ずしも家族と一緒にいるとは限りません。そのようなときに備えて、災害時にはどうすればいいか、家族が離ればなれになったときはどうするかを話し合っておきましょう。



とくに話し合いで決めておきたいこと

- ☐ 家の中でどこが一番安全か、また、危険なところはどこか確認しておく。
- ☐ 一時集合所、広域避難場所はどこか確認しておく。
(散歩をかねて家族みんなで実際に行ってみよう)
- ☐ 最短距離より、安全なルートを全員で考える。
- ☐ 広域避難場所の中で迷わないよう、自分たちの集合場所を決めておく。
- ☐ 防災訓練に参加し、とるべき行動を体で覚えておく。

備えておこう!これだけは



非常持ち出し袋をつくり、いざというときに備えましょう

非常持ち出し品リスト

- ☐ 飲料水(1人1日3ℓ)
 - ☐ 食料(人数分、赤ちゃんがいる場合は粉ミルク)
 - ☐ 救急医薬品類(常備薬も忘れずに)
 - ☐ 携帯ラジオ、懐中電灯、予備電池など
 - ☐ 現金、貴重品、保険証、印鑑など
 - ☐ 下着類、タオル、ティッシュ、予備メガネなど
- ※食料及び飲料水は家族全員3日分が必要です。
※年に1回は中身を点検し、使用期限などのチェックをしましょう。

POINT 2

となり近所の助け合い

日頃からの近所付き合いを

家族だけでなく、となり近所の方たちとも、災害時の防災パートナーとして協力できるように、大地震が起こったときのことなどについて、話し合っておくことも大切です。

いざというとき、頼りになるのはとなり近所の方たちです。となり近所のおとしよりや障害のある方の名前を知っておきましょう。

POINT 3

まちぐるみの助け合い

まちの防災力を高めよう

大地震が起きた場合、消防車や救急車がすぐに来るとは限りません。

町会などを中心として、地域の皆さんが力を合わせて消火活動や、近所のおとしよりや障害のある方などのことを考えながら救出・救護活動ができるよう準備しておきましょう。

防災訓練に参加して、いざ災害が起きたときに「何をするか」「何ができるか」を体験しましょう。



◎防災訓練…

毎年1回、駒沢中学校で実施しています。(詳細は回覧をご覧ください)

◎避難所運営訓練…

災害時に円滑かつ自主的に避難所が運営できるよう、町会と学校関係者が協力して実施しています。

大地震が 起こったら!

そのときの心得
10か条



- 素早い消火、火の始末!
- 慌てた行動 ケガのもと!
- 窓や戸を開け、出口を確保!
- 落下物、慌てて外に飛び出さない!
- 門や塀に近寄らない!
- 正しい情報、確かな行動!
- 確かめ合おう わが家の安全、隣の安否!
- 協力し合って救出・救護!
- 避難の前に電気・ガスの安全確認!

家族の安否確認

災害時に家族が集まることができない場合などには「災害用伝言ダイヤル」などを利用して、安否を確認しましょう。



災害用伝言ダイヤル「171」

地震などの大災害発生時、個人の安否確認手段として、NTT東日本が運用する「災害用伝言ダイヤル」があります。

- 「災害用伝言ダイヤル」は、被災地の方が録音した安否などに関する情報を他の地域の方も聞くことができるほか、他の地域の方から被災地の方へメッセージを送ることも可能です。 ※伝言の保存期間は48時間です



毎月1日・15日(0:00~24:00)に体験利用できます

災害用ブロードバンド伝言板(web171)



インターネットを利用した伝言板です。被災地域の居住者が、電話番号などをキーとして伝言情報(テキスト・音声・画像)の登録が可能です。

<https://www.web171.jp>へアクセスし、画面に従って伝言情報の登録および閲覧を行ってください。

※伝言の保存期間は48時間です

災害用伝言板

震度6弱以上の地震などの大規模な災害が発生した場合、各携帯電話事業者が運用する「災害用伝言板」を使い、安否情報を登録・確認することができます。

メッセージ確認用URL

伝言板サービスに関するURL

NTTドコモ



← <http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>
<http://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/> →

a u



← <http://dengon.ezweb.ne.jp/>
<http://www.au.kddi.com/notice/dengon/> →

Softbank



← <http://dengon.softbank.ne.jp/>
<http://mb.softbank.jp/scripts/japanese/information/dengon/index.jsp> →

WILLCOM



← <http://dengon.willcom-inc.com/>
<http://www.willcom-inc.com/ja/info/dengon/> →